



## 第24回世界のクッキング講座開催報告



▲シェパーズ・パイ（料理右側）



▲クルスチキを作る様子

2月19日、東部交流センターにて松浦市国際親善協会主催のイベント「世界のクッキング講座」が開催されました。

この講座では、これまで松浦市内や近隣市町在住の外国人講師がさまざまな国の料理を教えており、24回目となる今回は松浦高等学校ALTのマシュー・グリーン先生が母国ニュージーランドの家庭料理2品を教えました。

1品目はShepherd's Pie（シェパーズ・パイ）というニュージーランドで定番のオープン料理を作りました。香辛料の効いた牛ひき肉とマッシュポテトの甘さがくせになるこの料理。「羊飼い」を意味する『Shepherd』という名前のおとおり、現地ではラム肉を使って調理することが多いとの説明がありました。2品目はマシュー先生の母親の母国であるポーランドのお菓子Chrusciki（クルスチキ）を調理し、小麦粉を練った生地を揚げて粉砂糖をまぶした軽い食感が参加者に好評でした。

同協会会員や会員友人・家族など13人が参加した今回の講座。「自宅で簡単に調理できるニュージーランド料理を知ることができて良かった」との感想が聞かれ、和やかな雰囲気の中、食を通じた国際交流を楽しむ時間となりました。

## 松高だより

### ■心に響く人生の達人セミナー

2月27日、「心に響く人生の達人セミナー」を行いました。松浦市長を講師としてお招きし、「人生は思うようになる。むしろ思うようにしかならない」と題して生徒たちに講演をしていただきました。生徒たちも真剣な眼差しで、講演に耳を傾けていました。

田淵那月さん（2年 御厨中学校出身）は「『人生は自分が思わないと思うようにならない』という話を聞いて、その通りだと思いました。私も自分の人生について深く考える時間を設けようと思います」と講演の感想を語りました。



### ■卒業証書授与式～59回生91名、本校を巣立つ～

3月1日、卒業証書授与式を挙行政し、91名の卒業生（59回生）が本校を巣立っていきました。式では3年生各クラスの代表生徒が学校長から卒業証書を授与された後、在校生代表の望月淳ノ介さん（2年 志佐中学校出身）が送辞、卒業生代表の吉岡優奈さん（調川中学校出身）が答辞を読み上げました。

答辞の中で吉岡さんは「仲間と離れることは寂しく、不安も大きいですが、松浦高校で仲間や先生方と過ごした時間を胸に、自分の決めた道を一步一步歩んでいきます」と決意の言葉を述べました。

